



うち どく

美里中学校区教育を考える会
紀美野町立美里中学校・育友会

家読のススメ No. 2

家庭の読書で育つ力

「家読（うちどく）」は、「家族ふれあい読書」の略語で、本校で行われている「朝の15分間読書（朝読）」運動の家庭版として、**家族で同じ本を読み、読んだ本の感想を話し合うこと**で「家族のコミュニケーション」をさらに深めようという取り組みです。ただし、**今年からは家族で違う本を読んで互いに本の感想を紹介しあう取り組みもあり**とします。昨年度は、家族の方が本を読めていないことが多く、家読ができていない生徒（家族）が多くいました。そこで、同じ本でなくても互いに読んだ本を紹介しあうことから始めてもらうのもいいではないか、家族の方にもっと読書をしてもらいたい、そして本について家族で話し合っ欲しい、という理由からです。

読書を通して、家族間のコミュニケーションをより深め、読書体験を他者と共有することで、人とながる喜びや読書の楽しさを広げましょう。

読書は個人的な体験ですが、感想を話し合ったり、人にすすめたりしてことばにすることで、コミュニケーション能力や読解力、表現力を高める事につながります。「家読」は、子どもも大人も一緒に成長し心の豊かさを育む活動でもあるのです。（トーハン「うちどく実践ガイド」より）

読書を、おうちの文化にしよう！

子どもも大人も関係なく、それぞれの目線で一緒に本の世界を楽しみ、共感し、語り合えることが「家読」の良さです。

そこでことしも**1年に3回の「家読強化週間」**を設けて実施します。

ご協力お願いいたします。

なお、「家読ノート」を配布しますので、無理のない範囲で、家読された感想やご意見を書いてください。



1回目は、7月21日(土)～7月31日(火)（夏休み中）家読ノート提出は8月1日(水)

2回目は、10月27日(土)～11月9日(金)（読書週間）家読ノート提出は11月12日(月)

3回目は、12月22日(土)～1月7日(月)（冬休み中）家読ノート提出は1月8日(火)

『中学生に読んでほしい30冊』2018（新潮文庫）

「赤毛のアン」「あと少し、もう少し」「精霊の守り人」「アメリカひじき・火垂るの墓」「潮騒」「博士の愛した数式」「夜のピクニック」「きみの友だち」「伊豆の踊子」「海辺のカフカ」「ツナグ」「坊っちゃん」「楽隊のうさぎ」「しゃばけ」「ボッコちゃん」「走れメロス」「星の王子さま」「新編 銀河鉄道の夜」「蜘蛛の糸・杜氏春」「夏の庭」「十五少年漂流記」「にんじん」「4TEEN」「本屋さんのダイアナ」「キッドナップ・ツアー」「飛ぶ教室」「老人と海」

「あしながおじさん」と「ピーター・パンとウエンディ」と「西の魔女が死んだ」の3冊を除いて1階ローカと生徒玄関横に置いています。2学期中に、この3冊も納入予定です。

平成28年度に「美里中学校区 家読フォーラム」が行われました。講師先生のアンドリュー・デュアー氏（東海学院大学 教授 子ども司書推進プロジェクト代表）は『家庭の読書で育つ力』と題して、次のような効果が得られるとお話くださいました。

読書から得られる17の効果

- 1 子どもの語彙が大幅に増える
- 2 言葉と読解力が発達する
- 3 学力が高まる
- 4 想像力と集中力が鍛えられる
- 5 性格が形成される
- 6 感情や感性が発達する
- 7 社会性が発達する
- 8 人に気持ちが読める共感性が成熟する
- 9 文脈理解力が鍛えられる
- 10 経験の拡張ができる
- 11 悩みを解消する力が身につく
- 12 進路のヒントが得られる
- 13 親などとの絆が深まる
- 14 時間を楽しく過ごせる
- 【+家庭ふれあい読書（家読）で得られるもの】
- 15 本を選ぶ力
- 16 最後まで読む根気
- 17 家族だけの顔を合わせる時間

昨年度、家読強化週間で読まれた本 & 感想（昨年度の『家読のすすめ』より）

家読で読んだ本の題名 君の脾臓を食べたい 作 者 住野よる 出版社 双葉社	読んだ人 自分 好きな登場人物 主人公 感想 桜良の亡くなり方が 最初読んだときびっくりした。「共病文庫」を みたときは感動した。	読んだ人 母 好きな登場人物 山内 桜良 感想 余命宣告された桜良の生きる姿に感動。人生何が起きるか分からないが彼女は精一杯生きていたと思う。予期せぬ死を迎えてしまったが…。主人公の彼の最後のメールがこのタイトルの言葉、彼女の遺書の言葉と同じ。2人がお互いの魅力を飲みたいという意味でもあるのかな。2人のおもしろいやりとり、主人公が変わって行くところが面白く、夢中になり読みました。
家読で読んだ本の題名 火花 作 者 又吉 直樹 出版社 文藝春秋	読んだ人 自分 読み終わった日 11/9 好きな登場人物 神谷さん 感想 又吉さんが、博学な感じがしていたが、こんな話を書くとは思わなかった。神谷さんのキャラが良いなと思った。	読んだ人 母 好きな登場人物 お父さん 感想 夢を叶えることは難しいが、追いかけることは無意味じゃないと「火花」を読んで改めて思いました。自分らしく生きる神谷さんすばらしいです。
家読で読んだ本の題名 君の名は。 作 者 新海 誠 出版社 角川文庫	読んだ人 自分 好きな登場人物 三葉 感想 三葉が入れ替わって男の子になったときが、おもしろかった。瀧が三葉のことを助けようとしているところがとても感動した。	読んだ人 母 好きな登場人物 瀧 感想 時代が少しずれている事が予想外だった。助けるために頑張ったのに忘れてしまうなんて切なすぎる。感動した。

家読の感想を見ると、家読を通じて、子どもの日々の成長や変化を感じられるようです。本を通じて子どもたちとの楽しいひとときを過ごしていただき、子どもたちの新しい一面を発見していただけたらうれしい限りです。



毎年、たくさんの本を購入しています。

～うちどくへおすすめする本～

「羊と鋼の森」「きみの友だち」「風に立つライオン」「桜風堂ものがたり」「戦場のコックたち」「コーヒーが冷めないうちに」「海の見える理髪店」「お任せ 数学屋さん」「君の脾臓を食べたい」「凍りのくじら」「窓から逃げた百歳老人」「ちゃんぽん 食べたかっ!」「君たちはどう生きるか」「穴」「いのちのハードル」「1リットルの涙」母の手記」「佐賀のがばいばあちゃん」「赤毛のアン」「16歳の教科書 ドラゴン桜公式副読本」「世界を見る目が変わる50の事実」「まる子だった」「種をまく人」「天の瞳 幼年編」「図書館戦争」「野ブタ。をプロデュース」「浜村渚の計算ノート」「勉強ができなくても恥ずかしくない<1>」「ものを食う人びと」「麦ふみクーツェ」「ミカ!」「ぼくらの七日間戦争」「100万回生きたねこ」「心に響く小さな5つの物語」